

# 科目「原価計算」学習指導案

学校名	茨城県立水戸商業高等学校	指導者	教諭 ○○○○○○
指導日時	平成 27 年 6 月 ○ 日( ○ )第 ○ 限	場所	2年3組教室
対象生徒	商業	科 2 年 3	組・コース 40 人
科目名	原価計算	使用教科書	原価計算 東京法令 出版

## 1 単元(題材)名

第Ⅲ編 原価の部門別計算と製品別計算 第3章 総合原価計算  
7 総合原価計算における減損および仕損

## 2 単元(題材)の目標

総合原価計算における減損および仕損の意味を明らかにし、その計算法と処理法を理解させる。

## 3 単元(題材)について

### (1) 教材観

原価計算について身近な例を題材として、難しい専門用語もできるだけイメージができるように、教科書のための指導ではなく、補助プリントなどを通して理解できるよう教材作りをおこない、全員が得意科目になるような教材作成を目指す。

### (2) 生徒観

原価の部門別計算までの学習を終え、複雑な計算に対して難色を示す生徒もみられた。課題などを消化していくことで理解が深まっている生徒も増加しているが、やや苦手意識を持っている生徒がいることも事実である。総合原価計算における計算法は、個別原価計算とは異なる点が多いため、ここから自信を持たせ学習に取り組ませる必要がある。理解が不十分な点や疑問に感じた点について積極的に質問しようとする姿勢があり、緊張感をもって授業に臨んでいる。

### (3) 指導観

原価計算は簿記の基礎を前提に学習するが、スタートが同じであることを強調し、必ず理解して次に進むように指導する。  
全員が同じノートを作成することにより問題演習、テスト前、検定前などに一斉に確認できるノート作りをおこなう。  
全員が理解して次に進むためにも、生徒同士がお互いに教えあう雰囲気作りが必要である。  
記録に残す授業・記憶に残る授業を目指し、生徒が参加する授業を心がける。

## 4 単元(題材)評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
①個別原価計算と総合原価計算の違いを明確にして、それぞれの原価計算の知識と技術を積極的に身につけ、理解を深めようとしているか。	①総合原価計算では、個別原価計算とは異なり期末仕掛品原価の算定に重点が置かれるということの意味を理解し、的確に説明できるか。 ②総合原価計算にさまざまな方法がある理由を主体的に考えようとしているか。	①総合原価計算における仕損・減損について適切に処理できるか。	① 問題集の問題について一定の解答を導き出すことができ、正誤の理由についても把握できているか。

5 指導と評価の計画（学習計画）

時	主な学習活動	指導及び留意点	関	思	技	知
2	総合原価計算における減損 (完成品のみ負担)	減損とは何か、生徒がイメージしやすいように説明する。正常減損は、どの時点で発生したかによって①完成品のみ負担させるか、②完成品と月末仕掛品の両方に負担させるかを判断し、計算することを理解させる。①の場合における月末仕掛品の計算には(ア)平均法(イ)先入先出法があることを理解させる。	○	○	○	○
	総合原価計算における減損 (両者負担)	上記②の場合における月末仕掛品の計算には(ア)平均法(イ)先入先出法があることを理解させる。		○	○	○
1	総合原価計算における仕損	仕損とは何か、生徒がイメージしやすいように説明する。仕損費は、減損の場合と同様にどの時点で発生したかによって①完成品のみ負担させるか、②完成品と月末仕掛品の両方に負担させるかを判断し、計算することを理解させる。		○	○	○

6 本時の学習

(1) 本時の目標

- ◇減損の意義について理解させる。
- ◇減損の計算方法と処理方法(完成品のみ負担)について理解させる。

(2) 準備・資料等(学習に必要なワークシート, 教育機器, 資料等を記入)

「完全段階式 標準検定簿記問題集 全商1級原価計算」

(3) 本時の展開(導入・展開・終末)

時間	学習活動・内容	指導上の留意点(◎評価)
導入	1. 前時までに学習した, 総合原価計算の特色と計算方法について復習する。	◆前時までに学習した総合原価計算の特色と計算方法について発問し, 復習させる。 ◎関心・意欲・態度 前時までの内容について積極的に発問に答えられたか。
展開	2. 減損の意義について理解する。	◆減損とは, 製造の途中で原材料が蒸発, ガス化, 粉散, 煙化などの原因により減少することをいう。牛乳を例にあげ, 製造の途中で減少する場合があることを説明し, 他に同じような例がないか考えさせる。 ◎思考・判断・表現 減損の意義について主体的に考えることができたか。
	3. 正常減損費の処理について理解する。	◆正常減損は, どの時点で発生したかによって①完成品のみ負担させるか, ②完成品と月末仕掛品の両方に負担させるかを判断することについて, p. 164の図を見ながら説明し, 理解させる。 ◎思考・判断・表現 正常減損費の負担の考え方についてなぜ2通りあるのか主体的に考えることができたか。
	4. 月末仕掛品の計算方法について理解する。(正常減損費を完成品のみ負担)	◆減損費を完成品のみ負担させる場合の月末仕掛原価の計算を(ア)平均法(イ)先入先出法のそ

	せるケース)  5. 問題集の問題を解答する。	れぞれのケースについて、p.165の図を参照しながら説明し、理解させる。 ◆完成品のみ負担させる場合の月末仕掛原価の計算をp.166の例14を参照しながら説明し、理解させる。 ◎技能 正常減損費を完成品のみ負担させるケースの月末仕掛品の計算を適切に行うことができるか。  ◆問題集の問題を解答させ、机間指導により、理解度を確認する。 ◎知識・理解 問題集の問題は解答できたか。
終末	6. 本時の学習内容について復習し、次時の内容を確認する。	◆板書事項を振り返り、ポイントを押さえる。